

1. 協議会設立の経緯

本市と合志市を結ぶ重要な基幹公共交通である熊本電鉄鉄道について、結節機能や輸送力の強化など公共交通への転換、交通渋滞の緩和、更には沿線地域の活性化に必要な施策等の検討を行うことを目的に、行政や交通事業者など関係者による「上熊本駅における交通結節機能強化協議会」を設立

協議会（親会）

法人又は団体	構成員
熊本電気鉄道 株式会社	代表取締役
合志市	合志市長
熊本市	熊本市長
熊本市交通局	熊本市交通事業管理者

専門部会

法人又は団体	構成員
熊本電気鉄道 株式会社	鉄道事業部長
熊本市交通局	交通局次長
熊本市	交通政策部長
合志市	市長公室長
熊本県	交通政策課長

オブザーバー

法人又は団体
九州旅客鉄道 株式会社 熊本支社
国土交通省 九州運輸局 鉄道部
国土交通省 九州運輸局 熊本運輸支局
熊本県 企画振興部 交通政策・統計局
熊本市 西区役所

2. 現状と課題

<上熊本駅>

- ・ 様々な公共交通機関が接続する利便性の高い市内有数の交通結節点である。
- ・ 市電と電鉄とは距離があることから結節性を高める必要がある。
- ・ 一方で他の交通モード同士の乗換えに比べ市電と電鉄との乗換利用者が少ない。

<都市圏交通全体>

- ・ 半導体関連産業の集積に伴い、更なる渋滞悪化が顕在化。
※特に大津植木線の渋滞長は前年の5倍増（菊陽町主要交差点20か所平均）
- ・ 渋滞解消に向け道路整備のみならず公共交通利用への転換を図るための環境整備が急務。
- ・ 熊本都市圏内を結ぶ基幹公共交通軸として電鉄とJRがあるが、JR豊肥本線はピーク時混雑率121%と既に高負担であることに対し、電鉄は91%と比較的余裕がある。



出典：PLATEAU VIEW（国土交通省 <https://plateauview.mlit.go.jp/>）を加工して作成

上熊本駅における交通結節機能強化協議会における検討状況について

3. 今後の取組みの方向性 ※別紙「全体イメージ」参照

- ・ 県市で共有する目標～**車1割削減、公共交通2倍、渋滞半減**～の実現に向けて取組みを進める。
- ・ **上熊本駅及び熊本電鉄の機能強化により市中心部～合志市及び菊池南部エリア等へのアクセス容易性の向上**を図り、移動快適性の向上や沿線の価値向上のみならず、**都市圏交通全体の流動性向上を図り、公共交通への利用転換**へつなげる。（電鉄を軸とした新たな公共交通ネットワークの構築）
- ・ 具体的には**上熊本駅と御代志駅の交通結節機能強化**、熊本電鉄自体の機能強化、沿線のまちづくり施策など、**各エリアにおける施策について、時間軸や役割分担も含めて総合的にデザイン**する。

4. 検討施策

- ・ 結節機能強化（主に上熊本駅・御代志駅）、利用促進、まちづくりの観点から各施策を整理。
- ・ 今後は、各施策に関する現状や課題、効果等について整理し、各施策の優先順位、時間軸（短～長期）、役割分担等をまとめた**基本構想策定**。

分野	目的	施策群（案）
結節機能強化	輸送力の強化(運行本数の増加)	①輸送力強化に向けた離合駅の設置
	新たな交通NWの構築	②通勤バスの導入（大津植木線、中九州横断道路）
利用促進	乗換え利便性向上 (時間短縮、乗換え手間減少など)	③ダイヤ調整等によるJRと電鉄の乗継易さ向上
		④市電と電鉄の相互乗入 ⑤市電と電鉄の対面乗換え ⑥駅前広場の路面標示等案内の充実 ⑦P&Rによる電鉄沿線での乗換駐車スペースの確保 ⑧駐輪場整備等による近隣居住地～最寄駅の移動手手段の提供
まちづくり	公共交通利用者の増加	⑨鉄道利用者への料金割引 ⑩立地適正化計画に基づく居住誘導等

4. 今後の取組みについて(案)

- ・ 令和6年度は専門部会で基本構想内容を検討し、令和7年度に基本構想の策定に着手。

上熊本駅における交通結節機能強化について（全体イメージ）

【参考】第2回協議会資料より

